

# 数学科公開授業学習指導案

指導者 職・氏名 教諭 米野 晃司

指導日時・教室 令和 5 年 11 月 15 日 (水) 5 限目 教室名 2年1組  
 対象生徒・集団 地域未来探究科 2年(次)生 33人  
 科目名 数学Ⅱ (単位数 3)  
 使用教科書 新編数学Ⅱ (出版社名 数研出版)

1 単元名 第3章 図形と方程式

2 本時の指導と評価の計画 (第17時)

(1) 本時のねらい

- ① 2点間の距離の公式を用いて距離を求めることができる。
- ② 不等式の表す領域を示すことができる。
- ③ 図形と方程式で習得した知識を事象の考察に活用できる。

(2) 準備・資料等 スクリーン プリント

(3) 本時の展開

過程時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 10分	・既習事項の振り返りを行う。(2点間の距離の公式を復習する)	・個人で課題に取り組む。	・解けていない生徒に助言をする。  ・本時の目標を示す。	・【知】(観察)
展開 30分	(学習課題) 条件を満たす連立不等式を立式することができ、その連立不等式の表す領域を図示したり、面積を求めたりする。			
	・連立不等式を立て、領域を図示する。  ・領域の面積を求める。	・ペアで取り組む。  ・ペアで取り組む。代表生徒が板書を行う。	・ペアの教え合いが活発に行われるようにする。  ・進んでいないペアに助言を行う。	・【思】(観察、プリント)
終末 10分	・本時の目標に対する答えをまとめ、補充問題に挑戦する。			
(まとめ) 平面上の2点間の距離や不等式の表す領域を考えることが、社会生活の事象につながるようになった。				

